

平成26年4月12日

長与町図書館友の会「自然観察会」

ニュースレター

NO. 1

平成26年 第1回植物観察会報告

>>>>山川 続

(長与町図書館友の会「自然観察会」代表)

1. 開催日時：平成26年3月29日（土） 9時30分～12時45分
天候：雨ときどき曇り
2. 集合場所：長与駅前ロータリー
3. 観察場所：長与駅～^{はつたんだ}八反田公園～中尾城公園
4. 観察テーマ：「桜を中心とした春の植物」
5. おもな観察内容

(1) 長与駅～^{はつたんだ}八反田公園

今日の日程確認をした後、長与駅前に植えてあるベニシダレ(写真1)を観察した。うすピンク色の花が満開で、とてもきれいだった。

私が観察した限りでは、町内で見られるベニシダレはここだけのようだ。



写真1. ベニシダレ（長与駅前 20140329）

※ベニシダレ

- ・花色：紅紫色 ・花弁枚数：5枚
- ・エドヒガンの枝垂れ型（シダレザクラ）で、花の色が濃い。花が薄いシダレザクラよりやや遅れて開花する。花が平開しないのが特徴です。

ベニシダレを鑑賞した後、大通り沿いに^{はつたんだ}八反田公園へ向かった。歩道脇の植え込みの中で、ノボログク、ホトケノザ、スズメノカタビラ、ナズナ、フラサバソウ、花後のシロバナタンポポ、雑種タンポポ、キュウリグサ、コハコベ、カラシナ、ナガミヒナゲシなどを観察した。カラシナの葉をかじり、辛みがあるのを体験し、葉の付き方などアブラナとの違いを確認した。菜の花の説明（アブラナまたはセイヨウアブラナの別名のほか、アブラナ科アブラナ属の花を指す。）をした後、プランターに植えてあるブロッコリーの花を観察した。その時、参加者から「JR高田駅横さくら通り公園で毎年開催される『菜の花まつり』で、数年前、セイヨウアブラナではない菜の花の種が植えられた。」

と聞いた。当時、不思議な菜の花があると思い調べたので、その菜の花がシロガラシだとすぐわかった。シロガラシはイエローマスタードの原料として栽培されている。荒地でも育ちやすいので植えられたのだろう。しかしその後は、セイヨウアブラナを植えているようだ。

A. 総苞外片のかたち

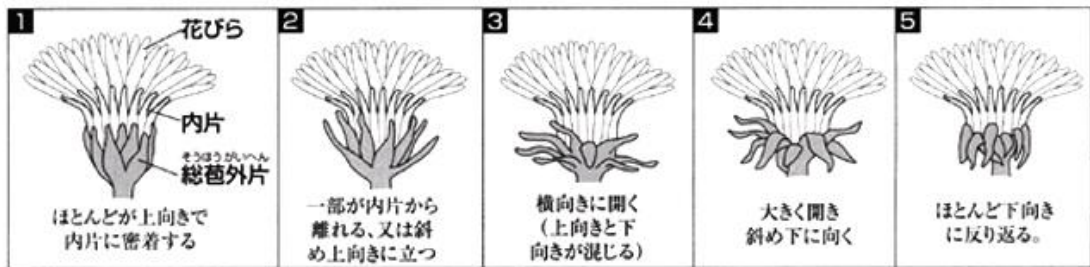


図1. 「タンポポ調査・近畿 2005 参考資料」より

タンポポを見分けるポイントは、花の色、総苞外片（花の外の緑色の部分）が下に垂れる度合い、花粉の有無などがある。シロバナタンポポの花は白色で、総苞外片が少し下に垂れる。シロバナタンポポに似ていて、総苞外片が垂れないキビシロタンポポが岡山県と広島県東部から報告されている。また、雑種タンポポも観察できた。基本的には図1の1のように総苞外片が上向きで完全に圧着しているものは在来種に多い。一方、セイヨウタンポポのような外来種では、図1の5のように総苞外片が大きく反り返って完全に下向きになっていることが多い。

今日観察したタンポポ（写真2）の総苞外片は、図1の2のように上向きに開いていた。花粉の有無を確認していないが、3倍体雑種タンポポだと思う。八反田公園近くでは、図1の5のように下向きに反り返ったセイヨウタンポポを観察した。以前は、環境を知る手がかりとして、セイヨウタンポポの分布を調べたが、最近の研究では外来種タンポポ（セイヨウタンポポ、アカミタンポポ）とされていたものの大部分は在来種と外来種の雑種で、総苞の形も帰化種と在来種の間mediate型が多く



写真2. 3倍体雑種タンポポ

見られことがわかってきた。雑種タンポポは、外来種の花粉が在来種に受粉してできたと思われる。今後、雑種タンポポの広がり注目したい。

昨年初めて観察したセイヨウエンゴサク（写真3）は、生えていた空き地がアスファルトの駐車場に整備されたため、見つからなかった。これはヨーロッパ原産の外来植物であるが、まだそれほど広がっていないようだ。似たのに、花が白っぽい



ニセカラクサケマンがある。

写真3. セイヨウエンゴサク（平成 25 年 3 月 17 日撮影）

(2) 八反田公園

この公園には、コヒガン、エドヒガン、ソメイヨシノ、ギョイコウ、カンザンの5種類の桜が植えてある。コヒガンは葉桜、エドヒガンとソメイヨシノは満開、ギョイコウは咲き始め、カンザンは未開花の状態だった。今までの観察から、この5種類の桜は、

コヒガン→エドヒガン→ソメイヨシノ→ギョイコウ→カンザンの順に咲くようだ。今年は、里桜の開花が例年より早い気がする。

コヒガンはエドヒガンとマメザクラ、青葉台中央公園にあるコシノヒガンはエドヒガンとキンキマメザクラとの交雑種と考えられている。エドヒガンの血をひく仲間の萼筒（萼の下にある筒状の部分）には、球状の部分がある。コヒガンとコシノヒガンの萼筒は似ているが、写真5のように萼片の形が違うので区別できる。



写真4. コヒガン(左端)とエドヒガン(右端)
中央はクスノキ(20140322)

緑色に近い花びらをしている桜は、ギョイコウとウコンである。両者はよく似ていて、古くなると見分けにくい。ギョイコウの花びらは緑色が強く、ウコンは黄色がかっている。また、ギョイコウの花びらを顕微鏡で見ると気孔があり、ウコンにはない。しかし、観察会で顕微鏡を使うのはなかなか難しい。

桜の他に、公園の土手でウマゴヤシ、カラスノエンドウ、セイヨウタンポポなどを観察した。

(3) ^{はつたんだ}八反田公園～中尾城公園

4種類の桜を観賞した後、往路と違って住宅街を歩いて、中尾城公園へ向かった。途中、庭に植えてあるトキワマンサク、ハナカイドウ、カリンの花を観賞した。

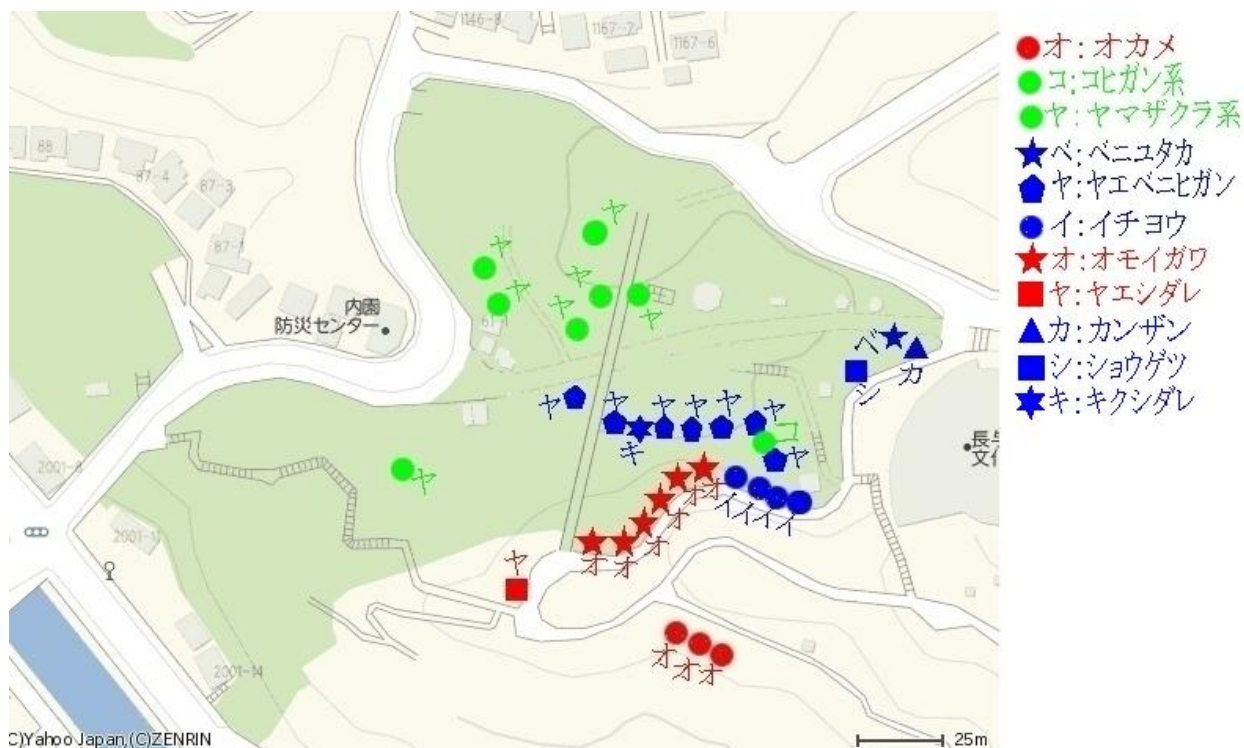


写真5. エドヒガン・コヒガン・コシノヒガンの比較

(4) 中尾城公園

園内に植樹してある桜は、ヤマザクラ群(いろいろなヤマザクラの種類があるようだ)、ソメイヨシノ、ヤエベニシダレ、ベニユタカ、カンザン、キクシダレ、コヒガン系(八反田公園のコヒガンとは違う)、イチヨウ、オモイガワ、ヤエシダレ、オカメ、“カンヒザクラとヤマザクラの交配(雑?)種?”、ショウゲツ、ギョイコウの14種である。

早咲き桜のオカメと“カンヒザクラとヤマザクラの交配(雑?)種?”(長与ダムグラウンドに植えてあるのと同じ)、コヒガン系はすでに葉桜になっていて、ヤマザクラ群は終わりに近く、ソメイヨシノ、ヤエベニシダレ、ベニユタカ、ヤエシダレは満開である。イチヨウ、オモイガワ、キクシダレ、ギョイコウは咲き始めていて、カンザンは蕾がふくらみ開花しそうである。ショウゲツは苗が小さいので花が咲くかは不明である。



ソメイヨシノ以外の桜（長与町中尾城公園）

6. まとめ

今回、長与駅前でベニシダレ、中尾城公園でヤマザクラ群・ソメイヨシノ・ヤエベニシダレ・ベニユタカ・イチヨウ・オモイガワ・ヤエシダレ・ギョイコウ、八反田公園でソメイヨシノ・コヒガン・エドヒガン・ギョイコウの多くの桜の花を觀賞できて良かった。特に中尾城公園の折れかかっていたギョイコウが、今年も開花したことは喜ばしい限りである。添え木はしてあるが、台風が来れば折れる可能性があるのも、さらに補強した方がいいと思う。

天気は悪かったが、桜以外にも春の花を見つけることができて良かった。ただ、公園内の樹木に名前プレートが付けてあると、もっと植物に親しめるのではないかと思った。

○参考・引用資料

- ・勝木 俊雄：日本の桜（フィールドベスト図鑑）
- ・このはなさくや図鑑 日本の桜
- ・松江の花図鑑
- ・農業環境技術研究所：外来植物「外来植物のリスク評価と蔓延防止策」
- ・岡山理科大学：植物雑学辞典
- ・大原 隆明：サクラハンドブック
- ・大阪自然環境保全協会：タンポポ調査・近畿 2005 参考資料
- ・新羽探訪@西方寺のヤエシダレ <http://blogs.yahoo.co.jp/kanaigon/28398299.html>
- ・(C) Yahoo Japan, (C) ZENRIN
- ・山野 美鈴：雑種タンポポの形態・繁殖・生育地特性とその環境指標性

長与町図書館友の会「自然観察会」 ニュースレター NO. 1

発行日：2014年4月12日

編集：山川 続 メール：yamagawa1957@yahoo.co.jp

発行者：長与町図書館友の会「自然観察会」